

課 題	点検・補修を含めたシカ柵コスト最小化に向けたコスト把握手法の確立				開発期間	令和4年度 ～令和6年度	
開発箇所	関東森林 管理局管 内全域	面積・ プロット数		担当 部署	森林技術・支援 センター	共同研 究機関	森林総合研究所
課題の分類	短期	技術開発基 本目標	(2)	技術開発 目標		その他関 係施策等	
開発目的 (数値目標)	シカ柵の情報の収集の仕方を検討・試行し、情報を収集・分析することにより、維持管理コストを含めたシカ柵コストの把握手法を確立する。 また、得られた成果や情報を、国有林の取組に活用するとともに民有林関係者に発信し、地域の森林・林業の課題解決に資する。						
実施経過	<p>令和4年度</p> <ol style="list-style-type: none"> 「シカ柵点検・補修シート」の様式の作成・試行 シカ柵補修資材単価の情報収集、とりまとめ 情報の分析・統計的解析方法の検討 「シカ柵総経費算出シート（仮称）」の様式の検討 <p>令和5年度</p> <ol style="list-style-type: none"> シカ柵点検・補修情報の収集、とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> 回答署数：9署等 データ量：376情報（令和4～5年度分） シカ柵補修資材単価の情報収集、とりまとめ 情報の分析・統計的解析方法の検討 「シカ柵総経費算出シート（仮称）」の様式の検討 <ul style="list-style-type: none"> コスト算出シート（プロトタイプ）作成 <p>令和6年度</p> <ol style="list-style-type: none"> シカ柵点検・補修情報の収集、とりまとめ <ul style="list-style-type: none"> 回答署数：12署等（全該当署） データ量：853情報（令和4～6年度分） 甚大な補修個所対応：該当署等へ聴取し、発注実績確認（全て直営） シカ柵補修資材単価の情報収集、とりまとめ 情報の分析・統計的解析 「コスト算出シート」作成 						
開発成果等	成果①「シカ柵点検・補修調査シート」 成果②「コスト算出シート」						
技術開発委員会 における意見							
原課・原班の 意見							
今後の見込み							

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
2 「開発目的（数値目標）」欄には、当初目的に加え、見直し等があった場合は見直し内容を記入すること。
3 「実施経過」欄には、技術開発の実施内容等を図面やデータ等を活用して簡潔に記入すること。
4 「開発成果等」欄には、開発成果やその活用状況、普及状況等について記入すること。
5 「技術開発委員会における意見」欄には、当該委員会の総括的な意見や計画の見直し等に影響する重要な意見を記入すること。

- 6 「原課・原班の意見」欄には、林野庁関係班・森林管理局関係課の意見を記入する。
- 7 「今後の見込み」欄には、今後の取組（中間報告）や実用化の見込み等を記入する。また、フォローアップ調査を実施することとした場合は、実施期間・内容等を記入すること。
- 8 成果を取りまとめた報告書等については、遅滞なく提出すること。